

2010年9月11日 愛知・講座実行委員会  
2010年・すてきな教師をめざす教員採用学習交流講座の評価に関して  
何を実現した講座だったのか

講座助言者としてのコメント

山口正

はじめに

今年3月下旬から8月下旬にかけて開催された「2010年・すてきな教師をめざす教員採用学習交流講座」(計10回開催)は、昨年を大きく超える参加規模になった。9月11日の講座実行委員会では、今年の講座についての総括会議が行われた。下記内容は、会議に提案した講座助言者としてのコメントである。このなかで、愛知の講座が重視してきた教育的意義をあらためて指摘した。今後の講座のあり方を考える一助になればと願って。

(1) 正規教員をめざす受験者の採用要求に応える講座内容であったことは、感想内容とともに、参加者数を飛躍的に広げてきた事実として端的に示されている。

【別紙資料】 講座参加者基礎分析

【資料1】 講座全体の参加者総数(概要)とこの2年の比較

|               | 全体     | 一般参加  | スタッフ・講師      |
|---------------|--------|-------|--------------|
| 2010年:        | 1792人  | 1451人 | 341人(実数104人) |
| 2009年:        | 1197人  | 985人  | 212人(実数57人)  |
| 2008年:        | 641人   | 534人  | 107人         |
| [比較] 2010年講座は |        |       |              |
| 09年比:         | 595人増  | 466人増 | 129人増        |
| 08年比:         | 1151人増 | 917人増 | 234人増        |
| 1年前の          | 1.5倍   | 1.5倍  | 1.6倍         |
| 2年前の          | 2.8倍   | 2.7倍  | 3.2倍         |

(2) 講座内容の豊かさが、リピーターの参加率に示されているとともに、「初参加者」を広げることにつながっている(と判断できる)。講座内容情報は多様な形で伝わっており(特に学生間では)、参加内訳からいっても、来年度も参加増が予想される。

【資料2】 講座参加の頻度

|         | a) リピーター率 | b) 初参加率 |
|---------|-----------|---------|
| 講座全体の   | a) 61%    | b) 39%  |
| 第1~8回の  | a) 66%    | b) 34%  |
| 第9回 県の  | a) 36%    | b) 64%  |
| 第10回 市の | a) 44%    | b) 56%  |
| 第9・10回の | a) 38%    | b) 62%  |

(3) 講座は、今年も交流を重視し、教師をめざす者どうしの接点(共通の願い)や他者理解を広げる場になった。

とりわけ、今年は臨時教員の思いを受けとめる場を可能な限り設けることによって、臨時

教員の実態や思いを理解する機会になった。また臨時教員が自らをさらけ出す姿も見られた。その発言や姿は、大学生にとっては臨時職(臨時教員)に対する理解を深めるものになった。

【資料3】 一般参加者の内訳

|                 |   |              |     |
|-----------------|---|--------------|-----|
| 一般参加者総<br>1451人 | } | 大学生(学生) 707人 | 49% |
|                 |   | 臨時教員 535人    | 37% |
|                 |   | 求職中 134人     | 9%  |
|                 |   | 正規教員 8人      | 1%  |
|                 |   | その他 67人      | 5%  |

(4) 愛知の講座の特徴はその基本姿勢にも鮮明に示されている。今年の講座も、受験者が現状では持たざるをえない競争意識的傾向を直視し、それを乗り越える試験の向き合い方(視点)を全面的に打ち出し共感を広げてきたことは特筆すべきことである。

…… 具体的には

<すてきな教師をめざす、未来の教師、将来の同僚であるという視点に立って、ともに合格をめざす>ことを参加者に呼びかけるとともに、結果によって分断を許さない試験の向き合い方を講座参加者に語ってきたこと  
これらをとおして、教師とは何か、教師に必要な力量とは何かを問いかけてきたこと(教師の力量養成講座であったこと)

こうした講座運営の教育的意義は大きい。

(5) 講座受講者が受験体験をとおして、現行の採用制度の問題点や矛盾を意識したり、制度改善要求(改善してほしい)に発展する講座にもなりつつある。

[受講生からの事例]

事例1: 愛知県2次「小論文」の問題設定に疑問というメール (山口宛)

意見交換: 解答事例の提供、検討、

事例2: 名古屋市1次「小論文」と「面接」の評価に関する疑問メール (同)

意見交換: 揺れる評価の実態 公正な選考を 公開を と受験者

(6) こうした豊かな講座内容を支えた背景には、講座実行委員会の強化(構成団体24へ、若手の役割分担)とスタッフの参加組織が各組織や実行委員会内で意識的に追求されこと、またその役割を果たそうとするスタッフの奮闘があったことを確認したい。

講座当日に、時間をかけて講座内容・進行に関する事前打ち合わせをスタッフで集団的にできたことも、スタッフの力を引き出すうえで欠かせないことであった。教員採用選考試験の情報について熟知しているスタッフは実際多くはないが、私たちが求める講座内容のねらいを理解すれば、だれでもスタッフとしての力量を発揮できることを示した(教訓)。

(7) 講座をより発展させるためには、講座を支える組織的な運営が欠かせない。その点で実行委員会での議論が不足したことが結果的に任務の加重や講座内容の判断を個別的なものにした。今後、実行委員会の体制・役割の見直しと集団的合意づくりの工夫が必要である。

[追記] 愛知・すてきな教師をめざす教員採用学習交流講座実行委員会の構成団体  
愛知・臨時教員制度の改善を求める会 愛知県高等学校教職員組合臨教部  
2010年より、愛知県教職員労働組合協議会・名古屋市教職員労働組が参加

| 総参加者      | 第1回  | 第2回  | 第3回  | 第4回 | 第5回  | 第6回 | 第7回  | 第8回 | 第9回  | 第10回 | 総計   |
|-----------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|
|           | 3/28 | 4/10 | 4/25 | 5/8 | 5/22 | 6/6 | 6/19 | 7/4 | 8/21 | 8/22 |      |
| 総計        | 130  | 136  | 186  | 212 | 199  | 155 | 203  | 238 | 222  | 111  | 1792 |
| スタッフ・講師人数 | 31   | 26   | 30   | 29  | 45   | 33  | 37   | 45  | 39   | 26   | 341  |
| 純参加者総数    | 99   | 110  | 156  | 183 | 154  | 122 | 166  | 193 | 183  | 85   | 1451 |

県2次 市2次

| 純参加者  | 3/28 | 4/10 | 4/25 | 5/8 | 5/22 | 6/6 | 6/19 | 7/4 | 8/21 | 8/22 | 総計   | 割合   | 内訳    |
|-------|------|------|------|-----|------|-----|------|-----|------|------|------|------|-------|
| 内訳    |      |      |      |     |      |     |      |     |      |      |      |      |       |
| 臨時教員  | 39   | 44   | 47   | 55  | 54   | 49  | 52   | 68  | 94   | 33   | 535  | 37%  | 臨時教員  |
| 求職中   | 5    | 6    | 11   | 15  | 17   | 17  | 18   | 19  | 18   | 8    | 134  | 9%   | 求職中   |
| 学生    | 52   | 55   | 93   | 104 | 70   | 48  | 89   | 99  | 59   | 38   | 707  | 49%  | 学生    |
| 正規教員  | 1    |      |      |     |      |     |      |     | 4    | 3    | 8    | 1%   | 正規教員  |
| その他   | 2    | 5    | 5    | 9   | 13   | 8   | 7    | 7   | 8    | 3    | 67   | 5%   | その他   |
| 計     | 99   | 110  | 156  | 183 | 154  | 122 | 166  | 193 | 183  | 85   | 1451 | 100% | 計     |
| 初参加   | 99   | 56   | 64   | 60  | 38   | 19  | 28   | 40  | 118  | 48   | 570  | 39%  | 初参加   |
| リピーター | 0    | 54   | 92   | 123 | 116  | 103 | 138  | 153 | 65   | 37   | 881  | 61%  | リピーター |
| 初参加率  | 100% | 51%  | 41%  | 33% | 25%  | 16% | 17%  | 21% | 64%  | 56%  |      |      |       |

【図】 純(一般)参加者数の推移と内訳

| 職業    | 人数  | 割合   |
|-------|-----|------|
| 学生    | 275 | 47%  |
| 臨時教員  | 228 | 39%  |
| 求職中   | 45  | 8%   |
| 正規教員  | 8   | 1%   |
| その他   | 26  | 4%   |
| 登録者総数 | 582 | 100% |

|           | 2010年 | 2009年 | 増減   |
|-----------|-------|-------|------|
| チラシから     | 17.5  | 23.6  | -6.1 |
| インターネットから | 32.1  | 36.0  | -3.9 |
| 知人から      | 45.4  | 36.0  | 9.4  |
| その他       | 5.0   | 4.4   | 0.6  |

a                      b                      a - b

